

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名		(独)航海訓練所船舶建造費補助金		担当部局庁	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		H23/H25		担当課室	海技課船員教育室		室長 大立康祐		
会計区分		一般会計		施策名	9-36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人航海訓練所法)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		内航海運は、国民生活・経済で必要とされている国内の産業基礎物質の8割の輸送を担う重要な海事産業であるため、それを支える優秀な船員(国際条約の基準を満たす有資格者)の養成を効率的・効果的に実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		内航海運の安全で安定的な海上輸送を支えるため、業界の求める即戦力を備えた新人船員の効果的な養成に向けた訓練体制の拡充に必要な練習船の整備を図る。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	450	450		
			補正予算	-	-	0	0		
			繰越し等	-	-	0	0		
		計		-	-	450	450		
		執行額		-	-	450			
執行率(%)		-	-	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		練習船の建造であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
				活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト		(円/)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	船舶建造費		450						
	計		450						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	限られた予算であり、執行率は100%である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	船舶の建造という限りなく限定的な経費であり、有効に活用している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>建造業者を選定し、工事の実施状況等の管理・監督を適切に行い、無駄のない予算の執行をさらに図ることとする。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 適切かつ効率的な予算の執行を行った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-1030

※平成23年度実績を記入

国土交通省
450百万円

航行の安全確保・海洋環境の保護を図るため、国際基準を満たす優秀な船舶職員を養成するための訓練を行うために必要な練習船建造の補助



【補助】

A.(独)航海訓練所
450百万円

航行の安全確保・海洋環境の保護を図るため、国際基準を満たす優秀な船舶職員を養成するための訓練を行うために必要な練習船建造



【総合評価入札】

B.三井造船(株)
450百万円

練習船建造

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.(独)航海訓練所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
船舶建造費	練習船建造	450			
計		450	計		0
B.三井造船(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
船舶建造費	練習船建造	450			
計		450	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
B.民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井造船(株)	練習船建造	450	2	93.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					